

平成27年度事業報告

平成27年度事業報告

第1 事業推進の基本方針

北海道の酪農畜産は、豊かな土地資源などの恵まれた環境を背景に、規模拡大を進め順調に発展してきた。しかし、一方では、担い手の高齢化、離農等により飼養戸数、頭数とも減少しており酪農畜産の生産基盤の脆弱化が顕著になってきている。更に、労働力不足、飼料・資材価格等の高騰、TPP大筋合意による先行き懸念など、酪農畜産を取り巻く環境はより厳しいものになっている。

このような状況の中、国は、地域の畜産農家をはじめとして、各種支援組織や関連産業等の関係者が有機的に連携し結集して地域ぐるみで収益性の向上を図っていくため、畜産クラスターの構築を推進している。

本協会としても、道内の酪農畜産の生産基盤の強化のため、畜産クラスター関係事業等に積極的に取り組むとともに、これまで行ってきた畜産経営の改善指導や畜産の生産振興の取り組みを一層、充実強化して、本道の酪農畜産の生産の効率化及び安定した経営基盤の確立に資するため、関係機関・団体と一層緊密な連携を図りながら、各般の事業を効果的かつ、効率的に実施した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業(地方競馬全国協会/補助19,102千円)

畜産の担い手育成・確保増強に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 強い農業づくり事業: 畜産経営技術高度化対策(北海道/補助2,650千円)

新たな畜産の担い手や地域の中核となる畜産経営を支援するため、経営診断を基に経営改善や生産技術指導と経営管理等総合的な支援を行った。

経営診断・分析支援 26件

(3) 酪農経営支援システム管理運営事業

対象農家について、農協・関係機関よりデータを収集し、その分析結果を現地で説明するとともに地域で開催される研修会等に参画し、農協等による営農指導を支援した。

利用農協数 25農協 分析件数 1,511件

(4) 畜産特別資金等推進指導事業(中央畜産会/補助33,423千円)

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導の実施及び融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

北海道酪農畜産経営改善支援協議会の開催

- ・協議会活動の企画・調整等 10回
- ・経営事例調査 32件

融資機関への指導・助言

- ・研修会 5回
- ・協議会による巡回指導 3箇所

経営改善計画作成・見直し及び達成指導

- ・計画作成指導等 409件
- ・濃密指導（月次モニタリング） 5J A

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛生産基盤振興事業

（北海道・ホクレン農協連・ジェネティクス北海道/補助他 42,326 千円）

高能力繁殖雌牛の保留やその後継牛の確保による和牛生産基盤を維持拡大するため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となって、優良な道産種雄牛を活用した繁殖基盤強化、地域生産組織の技術力向上に資する組織活動の強化及び自給飼料を活用した和牛生産に向けた取り組みに対し支援を行った。

道産種雄牛を活用した和牛生産基盤強化

- ・「勝早桜5」交配奨励 2,500頭 1頭当たり：2千円
- ・現地指導、検討会 1回（平取町）

地域生産組織の活動強化 12 集団

自給飼料を活用した和牛生産支援 4 集団

高能力繁殖雌牛活用推進 100 頭 1 頭当たり：15 千円

新規種雄牛早期市場評価推進対策 42 頭 1 頭当たり：30 千円

道内肥育推進対策

- ・道内出荷仕向け導入奨励 98 頭 1 頭当たり：50 千円
- ・道内出荷仕向け増頭奨励 137 頭 1 頭当たり：120 千円
- ・道内と畜増頭奨励 137 頭 1 頭当たり：50 千円
- ・枝肉共励会、肥育研修会開催 4 回

牛肉の食味に関する共同研究

- ・画像解析技術による脂肪交雑形状の指標評価活用法の開発 帯広畜産大学
- ・脂肪交雑形状と官能評価との関連性 釧路短期大学
- ・超音波診断装置による枝肉形質の発育様相に関する遺伝的特性評価 畜産試験場

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業 (農畜産業振興機構/補助 168,716 千円)

肉用牛生産基盤強化対策事業

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取り組みに対し支援を行った。

- ・繁殖雌牛の増頭に対する助成

育種価等要件達成 1,091 頭 1 頭当たり：80～100 千円

- ・肉用牛ヘルパー活動に対する助成 (1/2) 16 利用組合

- ・簡易牛舎の整備に対する助成 (1/2)

新築：20 千円/m²、改造：10 千円/m² 54 件

地域の特色ある肉用牛振興対策事業

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取り組みに対し支援を行った。

- ・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する対策助成 159 頭 1 頭当たり：12 千円

- ・離島子牛の島外家畜市場出荷助成 85 頭 1 頭当たり：5 千円

(3) 畜産・酪農生産力強化緊急対策事業 (AI・ET)(中央酪農会議/委託 10,000 千円) - 新規 -

和子牛の生産拡大と、優良な乳用種後継牛の確保により、畜産・酪農生産基盤を強化する事業の推進指導を行った。

事務取扱 87 農協

(4) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における子牛生産指数の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、地域の生産者や技術者対象の研修会等を開催し、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

肉牛改良推進のための研修会等の開催

- ・和牛技術研修会 全道 13 地区巡回指導
- ・和牛振興委員研修会 1 回 (札幌市)
- ・和牛生産農家後継者研修会 1 回 (札幌市)
- ・和牛女性部研修会 2 回 (音更町・札幌市)

家畜生体肉質装置を用いた肉質診断の実施

家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等 52 回

第 11 回全国和牛能力共進会への取り組み

全国和牛登録協会主催の産肉能力検定事業の立会

- ・直接検定 (開始・終了) 3 回

家畜改良事業団主催の現場後代検定種雄牛枝肉調査の立会

- ・現場後代検定 (前期・後期) 14 回

協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 16,261 件 (アクセス件数)

和牛経営定点調査事業 18 戸

(5) 肉用種雄牛管理事業 (貸付先/ 437 千円)

肉用牛経営の体質強化に資するため、北海道が所有する肉用種雄牛を現地に配置し、その管理を委託した。

〔管理委託頭数〕

(単位：頭)

区 分	前年度末	返 納	年度末	貸 付 先
黒毛和種	5	2	3	ホクレン稚内・函館 十勝農協連
アンガス種	5	1	4	JA 北オホーツク (雄武町) ホクレン本所
計	10	3	7	

(6) 豚登録改良事業 (生産者/ 1,151 千円)

豚の登記・登録を実施することにより、品種の証明を行い、育種改良及び遺伝子能力評価のデータを効率的に収集した。また、登録規程の周知を図るため、登録審査員を対象とした講習会等を後援するとともに、豚枝肉展示評価を通じて飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、枝肉共励会を後援した。

〔登録・証明件数〕

(単位：件・%)

区 分	子豚登記	種豚登録	一腹記録 証 明
件 数	271	200	242
前年度対比	98.2	93.5	131.5

(7) 強い農業づくり事業：めん羊等推進事業 (北海道/補助 148 千円)

優良な系統の普及・啓蒙を推進するとともに、種雄羊生産農場からのスクレイピー抵抗性羊の供給体制の確立及び季節外繁殖技術の普及を図るため、研修会を開催した。

研修会開催 2回 (音更町・清水町)
1回 (土別市)

(8) めん羊登録改良事業 (生産者/ 1,432 千円)

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

また、優良なめん羊の展示評価を通じ、飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、全道サフォーク種共進会を後援した。

〔登録・証明件数〕

(単位：件・%)

区 分	登 録		証 明	
	血 統	予 備	出 生	血 統
件 数	509	41	2,072	-
前年度対比	112.4	1,025.0	124.1	-

(9) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖を推進することにより、和牛生産基盤の充実と経営安定に資する活動を行った。

北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取り組みを行った。

北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取り組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。また、各種イベント等を企画し、道産牛肉のPRに努めた。

北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道指定種豚場協議会

道内で種豚を生産する個人等で構成され、優良種豚の確保・改良を促進し、養豚の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術発表会の開催などの取り組みを行った。

北海道地方公営競馬振興協議会

道内における地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

北海道自給飼料改善協議会

道内における自給飼料基盤の向上及び改善のための調査や研修会の開催などの取り組みを行った。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定のため、次の事業を行った。

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（農畜産業振興機構/補助他 109,334 千円）

肥育牛経営の安定を図るため、農畜産業振興機構からの補助金及び肥育牛契約生産者からの積立金により肥育安定基金を造成し、牛枝肉価格等の変動により肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対する補填を行った。

また、平成 23 年度において肉用牛肥育生産者に交付した緊急支援金の返還に関する業務を行った。

基金造成及び補填金交付実績

積立金単価〔平成 26・27 年度〕

（単位：円）

品種区分	H26 年 4 月～H27 年 3 月			H27 年 4 月～H28 年 3 月		
	生産者	補助金	合計	生産者	補助金	合計
肉専用種	18,000	54,000	72,000	10,000	30,000	40,000
交雑種	30,000	90,000	120,000	25,000	75,000	100,000
乳用種	20,000	60,000	80,000	17,000	51,000	68,000

基金造成実績〔平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月造成分〕

（単位：円）

品種区分	基金造成額			
	生産者積立金	補助金	運用益	計
肉専用種	255,894,000	767,682,000	3,142,352	1,026,718,352
交雑種	1,060,485,000	3,181,455,000	6,035,138	4,247,975,138
乳用種	2,072,759,000	6,218,277,000	8,749,271	8,299,785,271
合計	3,389,138,000	10,167,414,000	17,926,761	13,574,478,761

補填金単価〔平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月販売分〕

（単位：円）

品種区分	販売年月（交付は販売の翌々月）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
肉専用種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交雑種	-	-	10,600	18,500	-	2,300	-	-	-	-	-	-
乳用種	28,800	24,700	12,900	-	-	-	-	-	-	1,100	10,500	17,500

補填金交付実績〔平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月販売分〕

（単位：頭・円）

品種区分	対象頭数	補填金額		計
		積立金	補助金	
肉専用種	-	-	-	-
交雑種	10,392	27,322,600	81,967,800	109,290,400
乳用種	57,761	231,665,525	694,996,575	926,662,100
合計	68,153	258,988,125	776,964,375	1,035,952,500

緊急支援金返還実績

(単位：戸・千円・%)

区 分	平成 27 年 11 月 30 日現在		平成 28 年 3 月 31 日現在	
	戸 数	金 額	戸 数	金 額
交付金額 A	322	9,320,300	322	9,320,300
全額返還 B	310	8,985,150	312	8,999,384
一部返還 C	12	207,234	10	208,800
返還額合計 D = B+C	-	9,192,384	-	9,208,184
未返還額 A-D	12	127,916	10	112,116
返還率 D/A	98.6		98.8	

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や、畜産物の消費拡大を図るため、消費者に対しPR活動及び情報提供を行った。

(1) 北海道産牛肉情報公開システム管理運営事業(利用農家 1,863 千円)

肉用牛の生産履歴等を公開する「北海道産牛肉情報公開システム」の維持・管理を行うとともに農協や関係機関等協力のもと、生産農家への普及啓発により更なる利用促進を図った。

利用農家 121 戸

(2) 畜産関係団体調整機能強化事業(中央畜産会/委託 250 千円)

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援 1 回(帯広市)

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

〔登記・登録件数〕

(単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	65,891	7,534
	前年度対比	109.1	122.2
褐毛和種	件 数	684	95
	前年度対比	104.6	186.3
日本短角種	件 数	180	57
	前年度対比	150.0	65.5
外 国 種	件 数	29	43
	前年度対比	39.7	104.9

〔登録審査員の養成及び技術向上〕

- ・子牛検査委員、地方審査委員審査研修会 1回(安平町)

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

また、新たに畜産収益力強化緊急支援事業に係るリース物件の貸付団体(リース会社)として、事業実施団体と緊密な連携の下、事業の円滑かつ効果的な実施を図った。

〔取扱実績〕

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・再生バルククーラー ・新品バルククーラー他	19	133,324	106.3
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設	42	271,317	193.6
畜産環境整備機構	・経営リース ・たい肥調整保管施設 (1/2補助付)	19	204,008	93.3
畜産収益力強化緊急支援事業 -新規-		19	102,048	-
合 計		99	710,697	146.8

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 動産担保融資支援事業(日本政策金融公庫・生産者/委託 6,950 千円)

日本政策金融公庫、十勝畜産農業協同組合と締結した「肉用牛 A B L 協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛を担保に運転資金を融資した農家についてモニタリングを行った。

また、A B L 資金活用についての手法や課題を検討するため、関係機関等による情報交換会等を開催した。

モニタリング	11 件
情報交換会等	4 回

(2) 公庫資金活用推進事業(日本政策金融公庫/委託 300 千円)

公庫資金が地域の実態に応じて、総合的かつ計画的に活用されるよう、地域農業の実態把握と問題解決に向けた研修会や指導資料の作成を行った。

研修会の開催	2 回
指導資料の作成	北海道黒毛和種年度集計

(3) 畜産動産担保融資活用推進事業(農畜産業振興機構/補助 3,000 千円)

地域における畜産 A B L 導入調査のほか、モデル実証農家の経営診断や経営モニタリング体制の構築、貸倒れ時に想定する家畜の飼養・処分体制の構築等のための検討会等を行った。

地域検討会の開催	4 回
実証調査件数	12 件

(4) 畜産収益力強化整備等特別対策事業(機械導入事業)(中央畜産会/委託 582 千円) - 新規 -

畜産クラスター協議会を対象とした「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業」における機械導入事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

参加要望	90 件
------	------

(5) 畜産クラスター全国推進実態調査事業(中央畜産会/委託 2,100 千円) - 新規 -

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するために必要な情報として、先進的な経営等を対象に経営内容に係る調査を行った。

調査戸数	21 戸
------	------

(6) 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業(中央畜産会/補助 680 千円) - 新規 -

肉用牛経営の経営・技術調査を行い、個別支援を実施した。

調査対象経営	繁殖経営 15 戸、肥育経営 7 戸
個別支援	繁殖経営 11 戸、肥育経営 5 戸

(7) 畜産経営における女子力発揮推進事業(中央畜産会/委託 1,301 千円) - 新規 -

酪農畜産に携わる女性のグループ化を目的に勉強会や他地域との交流会を行った。

勉強会開催	3 回
交流会開催	1 回(神奈川県)

- (8) 女性・リタイア世代等の就農・定着等推進事業 (中央畜産会/委託 505 千円) - **新規** -
酪農経営における担い手確保・定着を目的に研修会を開催した。
研修会開催 2 回
- (9) 多様な担い手育成支援事業 (中央畜産会/委託 598 千円) - **新規** -
肉用牛経営における担い手確保・定着を目的に研修会を開催した。
研修会開催 2 回
- (10) 農業経営サポート調査事業 (中央畜産会/委託 2,650 千円)
日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る、農家の経営計画作成、経営課題の把握
や解決策の提案などを行った。
実施件数 13 件
- (11) 乳用種初生牛調査事業 (中央畜産会/委託 1,530 千円)
酪農経営における乳用種初生子牛の生産費の実態を調査した。
調査件数 85 件
- (12) 家畜排せつ物利活用推進事業 (中央畜産会/委託 230 千円) - **新規** -
敷料として利用されるおが粉の利用実態に関するアンケートを配布した他、アンケートの
回答があった畜産経営を対象におが粉の代替敷料の利用実態について調査を行った。
配布件数 100 件
調査戸数 1 戸
- (13) 植生等調査事業 (日本草地畜産種子協会/委託 5,000 千円)
植生改善の取り組みに資するため、道内の植生状況の調査・取り纏めを行った。
植生状況取り纏め 1,520 筆
- (14) 草地難防除雑草駆除対策事業 (日本草地畜産種子協会/委託 10,763 千円)
自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産
性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。
事務取扱 37 地区
- (15) 草地難防除雑草駆除等緊急対策事業 (日本草地畜産種子協会/委託 687 千円) - **新規** -
自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産
性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。
事務取扱 60 地区
- (16) 畜産近代化リース貸付指導等事業 (畜産近代化リース協会/委託 4,218 千円)
畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。
調査指導 26 基
- (17) 地域経済状況調査事業 (北海道農業公社/委託 2,678 千円)
酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。
調査地域 5 地域

- (18) 自給飼料改善指導事業（ホクレン農協連・北海道農業公社・雪印種苗/負担金 1,050 千円）
近年の草地における様々な課題に取り組むため、関係団体により設置した「北海道自給飼料改善協議会」と連携して、自給飼料基盤の向上及び改善のための調査、支援指導のほか研修会を開催した。

自給飼料生産優良事例発表会の開催 1 回（札幌市）
自給飼料改善セミナーの開催 1 回（札幌市）

8 北農ビル賃貸事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

平成 27 年度 通常総会

平成 27 年 6 月 29 日

〔議 事〕

- 議案第 1 号 諸規程の制定について
- 議案第 2 号 平成 26 年度事業報告及び決算報告等について
- 議案第 3 号 平成 27 年度役員報酬について
- 議案第 4 号 平成 27 年度会費負担額及び納入について
- 議案第 5 号 役員を選任について

2 理 事 会 - 議決事項 -

〔第 1 回〕

平成 27 年 6 月 9 日

- 平成27年度通常総会の提出議案について
- 平成27年度通常総会の開催について
- 平成27年度事業計画の変更及び収支予算の補正について
- 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務規程の一部改正について

〔第 2 回〕

平成 27 年 6 月 29 日

- 役付理事の互選について

〔第 3 回〕

平成 27 年 12 月 11 日

- 特定個人情報等の管理に係る規程等の整備について
- アンガス・ヘレフォード種登録規程の一部改正について

〔第 4 回〕

平成 28 年 3 月 28 日

- 平成28年度事業計画及び収支予算について
- 平成28年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- 諸規程の一部改正について
- 事務局長の任免について

3 監 査

〔監事監査〕

平成 27 年度監事監査（平成 26 年度決算分）

平成 27 年 5 月 29 日

〔内部監査〕

第1回	家畜登録改良部	平成27年 5月20日～22日
第2回	総務部	平成27年 7月14日～16日
第3回	リース部	平成27年11月18日～20日
第4回	経営支援部	平成28年 1月26日～28日

第4 会員及び役職員数

〔会 員〕

項 目	期 首	期 中		期 末
		増	減	
会 員	211	-	4	207
団 体	54	-	3	51
農 協	85	-	-	85
市町村	72	-	1	71

期末は、平成28年3月31日現在

〔役 員〕

項 目	期 首	期 末	摘 要
役 員	12	12	うち常勤理事1名
理 事	10	10	
監 事	2	2	

期末は、平成28年3月31日現在

〔職 員〕

項 目	期 首	期 中		期 末
		増	減	
職 員	32	5	2	35

期末は、平成28年4月1日現在

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。